

【がん種】 [膀胱癌](#)  
 【レジメン名】 FL+naI-IRI  
 【登録番号】 160606  
 【1コースの期間】 2週間  
 【総コース数】 進行・再発:PDまで  
 【催吐性リスク】 中等度:オニバイド、軽度:5-FU  
 【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):オニバイド, 5-FU  
 【投与量に制限のある薬剤】 なし  
 【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、疲労、コリン作動性症候群、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘、脱毛

【必要な検査】 編集中  
 【根拠論文】 Lancet 387: 545-557, 2016. 331501試験.

【点滴の時間】 [day1~]51時間  
 【費用】 編集中  
 【その他】 オニバイド:正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要. UGT1A1が\*6(\*6/\*6), \*28(\*28/\*28), \*6(-/\*6)+\*28(-/\*28)の場合には50mg/m2で開始し、忍容性があれば増量できる.  
 原則、CVポートを増設して治療を行う。携帯型ポンプの使用可否:CVポートを造設している。外来で治療する場合(入院導入後に外来へ移行する場合には初回入院時も使用可能、外来に移行せず入院で治療を継続する

携帯型ディスポーザブル注入ポンプ使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分 フィルター使用	○				
	アロキン静注 0.75mg	1 V							
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A							
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V							
3	5%ブドウ糖液 500mL	1 B	側管	90分 フィルター使用禁止 遮光	○				
	オニバイド点滴静注 調製開始から6時間以内に投与終了	70 mg/m2							
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間 フィルター使用	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2							
5	5-FU注	2400 mg/m2	メイン	46時間 携帯型ポンプ使用	○				
6	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後		○	○		

携帯型ディスポーザブル注入ポンプ未使用時

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	14
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
2	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分 フィルター使用	○				
	アロキン静注 0.75mg	1 V							
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A							
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V							
3	5%ブドウ糖液 500mL	1 B	側管	90分 フィルター使用禁止 遮光	○				
	オニバイド点滴静注 調製開始から6時間以内に投与終了	70 mg/m2							
4	5%ブドウ糖液 250mL	1 B	側管	2時間 フィルター使用	○				
	レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」	200 mg/m2							
5	生理食塩液 500mL	1 B	側管	46時間 フィルター使用	○				
	5-FU注	2400 mg/m2							
6	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後		○	○		